

平成 26 年 3 月 31 日
金 融 庁

行政事業レビューにおける平成 26 年度行動計画

1. 目的

金融庁の事業の実態（支出先や用途）を十分に把握した上で、自己点検を実施するとともに、その結果を事業の執行や予算要求に反映させることを目的とする。

2. 実施体制

- (1) 以下の者を構成員とする「金融庁行政事業レビュー推進チーム」（以下「チーム」という。）を設置する。

チームの構成員

統括責任者	総括審議官
副統括責任者	総務企画局総務課長
	” 政策課長
チームメンバー	各局総務課長等

- (2) 外部有識者を複数名指名し、外部の視点を活用した行政事業レビューの点検に取り組むものとする。
- (3) チームは以下の取組みを行うものとする。
- (ア) 事業所管部局による行政事業レビューシート（以下「レビューシート」という。）の適切な記入及び厳格な自己点検の指導
 - (イ) 外部有識者の点検を受ける事業の選定及び外部有識者からの点検結果の聴取
 - (ウ) 外部有識者による公開の場での点検の対象となる事業の選定及び点検結果の聴取
 - (エ) ア、イ及びウを踏まえた事業の厳しい点検（サマーレビュー）及び点検結果（所見）のとりまとめ
 - (オ) チーム所見を踏まえた事業の改善状況の点検
 - (カ) 金融庁全体の概算要求への反映状況の確認及びとりまとめ
- (4) 各局総務課長等は、チームの方針に従って、所管に係る事業及び行政事業レビューの実施を監督する。
- (5) チームの庶務は、総務企画局総務課管理室が処理する。

3. 対象事業

行政事業レビューは、平成 25 年度に実施した事業（同年度限りで終了した事業を含み、事務的経費、人件費等は除く。）を対象に、その実績に基づいて実施する。

4. 事業の実態把握

事業ごとに最終的に①予算がどこに渡り、②何に使われているかに関し、必要に応じて現場確認を行うなど、各局課室において十分な把握に努める。

把握した結果については、事業ごとに、行政改革推進本部事務局の定めるレビューシートに記載する。

5. 各局課室による事業の自己点検

上記の事業の実態把握を踏まえ、それが本来の事業目的と合致しているか、真に効率的・効果的な支出となっているかなど、各局課室において自己点検を実施する。

6. レビュー対象事業以外の事業の自己点検

各局課室は、事業の有効性、効率性及び透明性を確保するため、レビュー対象事業以外に平成 26 年度新規事業及び平成 27 年度予算の概算要求において新規に要求する事業についても自己点検を行う。

7. 結果の公表、概算要求への反映

上記の自己点検の結果を反映した上でレビューシートを公表するとともに、それに対して国民からの意見を募集する（中間公表）。

さらに選定したレビューシートについて、外部有識者による、外部の視点を活用した点検を行う。また、チームの所見及び所見を踏まえた事業の改善点、平成 27 年度予算の概算要求額等を記入したレビューシート及び概算要求への反映結果を公表する。

8. その他の取組み

職員の認識や意欲の喚起に努めるとともに、職員からの意見・提言募集、人事評価への反映など、行政事業レビューの実効性を高め、その向上に資する施策について、積極的に取り組む。

9. 今後のスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<p>行動計画の策定・公表</p> <p>(行革推進本部事務局へ提出) 事業単位の確定</p>	<p>(レビューシートの作成) 事業の実態の把握・点検</p>	<p>レビューシートの中間公表</p>	<p>金融庁行政事業レビュー推進チームによる点検 外部有識者による事業の点検</p>	<p>点検結果を概算要求へ反映</p> <p>概算要求提出、レビューシート最終版の公表</p>	<p>概算要求への反映状況の公表</p> <p>27年度新規要求事業に係るレビューシートの公表</p>